

芋煮会 報告

エコファーム 萱野 勉

12月7日、第10回芋煮会を開催しました。今年は、何故か天候不順が木曜日になる確率が高いので天気予報を注目していました。

朝いちばんは、冷えましたが日中にかけて好天候に恵まれ、会員73名。ならやま来訪者はニッポンバラタナゴ(ペタキン)調査の近大農学部准教授・北川忠生さんと学生5名、奈良市協働推進課の南徹さん、シニア自然大学校実習生3名。合計82名の参加で開催されました。

午前中会員は、協働作業の日(松林の土搔き、アダプトプログラム)で山へ。

エコファームは、芋煮会の準備。男性群はテント張りと掘りたての里芋を芋洗い棒で洗浄し、短時間でしっかりと外側の皮が剥がせた里芋の皮むき。女性群は大根、牛蒡、椎茸などの収穫。

主役の里芋は、エコファームの皆さんで春から夏にかけて管理してきた甚五右エ門芋(通称ならやま芋)、伝統里芋です。

種芋の保存や土作り、夏場の水管理、追肥、連作回避などに心掛けて有機無農薬栽培に取り組んだエコファームグループの野菜への愛情と努力の甲斐があって、上々の出来栄でした。



綺麗になった約200個の里芋、国産牛肉、大根、牛蒡、人参、椎茸、蒟蒻、葱入り芋煮。さつまいも(紅はるか)の天ぷら、里芋みそ生姜あえ、

大根焚き(桜島大根)、漬物大根、新米のおにぎり(約100個)、白米黒米さつまいも入りおこわ、ご馳走が全て整いました。

正午ちょうど、鈴木会長の開会の挨拶で10回目の芋煮会がスタートしました。

あつという間に鍋の前に茶碗持参の長蛇の列ができ、箸が進むにつれて「おいしい～おいしい～」の声。おかわりの希望者も続出。

用意した約100人前をほぼ完食し、最後まで穏やかな天候で絶好の芋煮会を十分に堪能していただけ、無事に終わることができました。



池田さんはじめエコファームの女性群、調理など準備に力を尽くしていただいた方々、皆々さま方に感謝申し上げます。

午後からは恒例の「桜島大根」重量あてクイズで大盛り上がり。

正解は、二株合計で12.4Kg

惜しくもピタリ賞がなくて、1位が2名で

- 1位 大澤教男 12.3kg ならやま商品券4枚
- 1位 羽尻 嵩 12.5kg ならやま商品券4枚
- 2位 辻本正子 12.6kg ならやま商品券2枚

和やかで楽しい一日であったとおもいます。また、来年もよろしく願いいたします。

